

## 令和4年第2回香美市議会定例会 12月定例会議 市長提案説明

本日、議員の皆さまのご出席をいただき、令和4年第2回香美市議会定例会 12月定例会議が開かれますことに、厚く御礼申し上げます。

本日も、私が掲げる「5つの基本政策と4つの横断的な政策に基づく香美市づくり」について、以下、本日提案の議案にも触れながらご説明をさせて頂き、議員の皆さま並びに市民の皆さまのご理解とご協力をお願いできればと考えております。

最初に、5つの基本政策の1つ目、経済の活性化についてであります。

香美市の基幹産業である農業については、本年9月の台風14号により、ビニールハウスなどに大きな被害がでました。また肥料の高騰や飼料価格の高騰など、農業事業者、畜産事業者の経営が非常に厳しくなっている現状があります。

そこで、本議会に香美市肥料高騰緊急対策事業として、化学肥料の使用量低減に取り組む農業者に対して、肥料価格の上昇分を、国が行う事業に合わせて上乗せ支援する予算を、計上させて頂いております。

また畜産事業者支援として、本年4月から乳価改定が行われる11月の前月までのコスト上昇分に対し、補助金を交付するための予算を、計上させて頂いております。

香美市の基幹産業である農業をしっかりと守るため、今後とも国や県にも要望しながら、しっかりと対応してまいります。

合わせて、今年度から農業委員会の体制強化にも努めています。国からは、未来を見据えた農地の有効活用について、デジタル化などの取り組みが示されています。農地転用などの手続きの迅速化も含め、香美市の農業振興と町づくりについて、しっかりと取り組んでまいります。

次に基本政策2つ目の健康長寿の香美市づくりです。

長引くコロナ禍については、未だに収束が見えず、今年の冬はインフルエンザとの同時流行も懸念されるところです。香美市としても、これまでと同様に、新型コロナウイルスワクチン接種について、取り組んでまいりますとともに、県からの情報収集に努め、連携しながら、安定した医療体制や在宅療養の確保に努めます。

またコロナ禍の中で、非常に困難な職場としてクローズアップされた職種に、介護従事者のお仕事があります。香美市の高齢者施設においても、コロナ陽性者となった高齢者を、病院に搬送することができずに、施設職員さんには厳しい環境のなか、献身的な対応をして頂いた、というお話もお聞きしているところです。改めまして困難な状況の中で働かれている、介護現場の皆様に、敬意と感謝を申し上げます。

こういった介護の現場について、少しでも事業者の皆さんを支援すべく、物価高騰対策支援金を計上させて頂いております。

今後とも、介護事業者の皆さんの状況もしっかり把握しながら、必要な対策を行ってまいります。

合わせて本議会に、健康介護支援課を、健康推進課と高齢介護課の2つに来年度より分割する議案を上げさせて頂いております。

今の体制から課長が1人増えることとなります。それぞれの課長が、国や県の施策について、しっかりと情報収集し、職員の業務をサポートして、これまで以上に健康長寿の香美市づくりを推進してまいります。来年のこども家庭庁創設に合わせてこども子育てに関する事項につきましても健康推進課において総合的に推進していく役割を担うこととしています。高齢介護課におきましても、安定的な介護保険運営、在宅介護医療の連携推進、高齢者の在宅における支援体制の充実に努めてまいります。

次に基本政策3つ目の教育の充実です。

先週22日に、大宮小学校、香北中学校の保護者により結成されたIB保護者アンバサダーチームから、市長、教育長宛てで要望書を頂き、また意見交換もさせて頂きました。

要望の主旨は、小学校、中学校の先生方が多忙で、その負担を少しでも減らせないかというものでした。

私としましても、教員の多忙化については、県議会議員の時代から関心を持っており、全国的な課題でもあると認識しております。部活動の外部委託や、ICT技術の活用など色々な取り組みが検討されているところです。

教員の多忙化解消の効果的な取り組みにつきましては、教育委員会とともにしっかりと考えていきたいと思っております。

さて、私は香美市の教育に対して、最も重要な課題は、不登校の課題だと考えております。私としましては、不登校になる多様な理由の中で、まず2つの面から考えたいと思っております。少し説明させていただきます。

1つ目は、厳しい家庭環境というもので、例えば、全国的に言われております親が育児放棄傾向にあり、生活リズムが悪いなどで、学校に通えなくなる事例。また最近クローズアップされたヤングケアラーなど、福祉の面からのサポートが必要な事例です。

このことについては、これまで以上に教育委員会と、福祉事務所など関係機関が連携を取り、困難な家庭のサポートを実施することで、不登校対策に取り組む仕組みを構築してまいります。

次に2つ目は、学校での取組みが必要なものについてです。例えば、児童生徒が、授業についていけずに不登校になる事例。生徒間のいじめが原因の事例。学校組織になじめない児童の特性が原因の事例。などが考えられます。

このことについては、子供達が、先生が好き、友達が好きという学校運営ができれば、不登校を解決できる部分があるのではないかと考えています。

先生方の負担を減すための努力を惜しまず、先生方が児童生徒に向き合う時間を増やし、結果、不登校の児童生徒を増やさないことに繋がるよう、今後とも努力してまいります。

次に、基本政策4つ目の市民を守る災害対策です。

災害対応においては、従前より、地域防災計画に定める配備基準どおりの人員数を動員することができていないと聞いておりましたが、9月に接近した二つの台風の災害対応において、この課題が如実に現れました。

この課題を改善するため、防災対策課が各部署に調査を実施しましたが、その結果を見ますと、災害対応時であっても平時に行う通常の業務をいかに継続するかという、通常の業務を優先するような考えが強く表れた内容で、まさにこの課題の要因がそこにあると思えました。

風水害時とはいえ、社会経済活動が継続していれば、基本的には行政における通常の業務も継続していますので、「行政サービスを低下させてはならない」という考えが働いているのかもしれませんが、しなしながら、災害対応時における「人命を最優先する」という考えのもとにおいては、通常の業務を優先するような考えはあってはならず、必要とする人員が集まらないままで災害対応を続けてしまうと、「これぐらいの人員で構わないだろう」「前も大丈夫だったので今回も大きな被害にはならないだろう」という楽観的な考えを生んでしまい、そうした考えが災害対応の判断基準に置き換わってしまうことを、私は危惧しています。

今年の災害対応を受け、災害対応の人員体制を見直すより、まず、災害に対する職員の意識の向上を図らなければならないと、そういう結論を得ました。

災害対策本部は、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、災害から市民や帰宅困難者等の生命、身体及び財産を保護するという責務を果たすため、地域防災計画の定めるところにより設置するもので、これは、指定避難所の開設、救援物資の供給、医療救護、災害ごみの処理など、次々と発生する平時とは異なる業務に迅速かつ効果的に対応するために、組織体制を平時の体制から災害対応の体制へと切り替え、全庁的に災害に取り組むことを意味します。

大規模災害は、ひとたび起こると、電気、水道、通信、道路などのライフラインが寸断し、混乱状態に陥ります。被災した市民や帰宅困難者は避難生活を余儀なくされるなど、状況が一変します。

このため、情報収集により予測することが可能である風水害時においては、おそれの段階から必要な人員を動員し、災害対応の体制へと切り替えることができるようにしなければなりません。

災害は、「想定外を想定する」とよく言われますが、この言葉の意味は、「最悪の事態を想定した意識で対応に当たらなければならない」ということであると、私はとらえています。

9月の台風の際には、私は、「空振り三振はしても、見逃し三振はしない」との決意で、災害対応にあたりました。避難所を従前よりも多く開設し、避難所の閉鎖は県内で最後となりました。結果、フルスイングで空振りしたと実感しておりますが、「人命を優先する」「見逃しはしてはならない」という念頭のもと、職員の意識の向上を図り、災害対応の改善を進めて参ります。

また、来年1月末頃には、合同訓練の実施を予定しており、職員の災害に対する意識を向上させる最良の機会でもありますので、しっかりと準備して参ります。

最後に基本政策5つ目のインフラの充実と有効活用です。

10月9日に東京で行われた安全安心の道づくりを求める全国大会、15日の全国治水砂防促進大会、17日の災害復旧促進全国大会と、関東高知県人会や全国市長会などを挟みながら、香美市役所を空けて上京し、国土交通省と国会議員への要望活動を行ってきました。

こういった要望活動は、私自身初めての経験でしたが、市長としての大切な活動であると認識しております。特に、高知県の要望活動に関しましては、これまでの歴代市町村長の繰り返しの要望の成果もあつてのこととは思いますが、国土交通省水管理・国土保全局長に、直接物部川についての要望を行うことができるなど、国の予算獲得に向けて、ある程度期待できるのではと思っていますところでは。

香美市民の道路整備の願い。そして物部川の氾濫や土砂災害から香美市民の命と財産を守るべく、機会を捉えて、国への要望活動に、今後とも積極的に取り組んでまいります。

続いて、4つの横断的な政策についてです。

1つ目は、親しまれ信頼される行政窓口への継続的な改善です。

マイナンバーカード取得促進に向けて、これまでの議会でも郵便局との連携について、お話をさせて頂いておりましたが、本議会におきまして、(マイナンバーカード)申請支援業務委託に係る経費を予算計上させて頂いております。委託後は、香美市内10局の郵便局でマイナンバーカード申請ができるようになります。

私としましては、住民の皆様が日頃からご利用し、そして信頼している郵便局員さんから、マイナンバーカードについてのメリットなどをご説明して頂けることで、安心して申請して頂けるのではと思っております。

またマイナポイントにつきまして、香美市地域電子マネーカミカへ電子マネーとして付与ができるよう、現在手続きをしており、マイナポイント付与に要する事務経費等の予算を、本議会に計上させて頂いております。開始時期につきましては、また改めてご報告させていただきます。

今後とも、市民サービス向上のためのマイナンバーカードの取得について、しっかりと取り組んでまいります。

合わせて、督促手数料の廃止についての条例議案も提案させて頂いております。

この条例案は、全国的に進められている税務行政のデジタル化の推進に関係するもので、政令指定都市ではすべての自治体が廃止しており、中核市でも8割の自治体が廃止しています。

高知県内においても高知市が9月議会で議決され、本市を含む10市においても同様の手続きをすすめているところです。

これにより、納税者等の納付時の利便性向上、金融機関等の窓口業務の負担軽減等の効果が期待できるものと考えております。

2つ目は、中山間対策の充実・強化です。

中山間対策について最も重要なことは、雇用の場を作っていくことだと考えております。香美市における中山間地域での雇用については、林業やユズを中心とした農業に力を入れていきます。

そして観光も重要な雇用の場であり、香美市の魅力をしっかりと磨き上げていく必要があります。特に、べふ峡温泉につきましては、今年度は苦戦が続いております。原因は、働く人の確保ができず、べふ峡温泉の営業日が大幅に減っていることです。

新しい大桁橋が完成し、紅葉シーズンに合わせて、多くの観光客がべふ峡まで足を延ばしてくれています。来て頂いたお客さんに、香美市の特産物を販売し、中山間地域に住む方の現金収入となるような取り組みに力を入れなければなりません。

本議会では、べふ峡温泉の修繕費用を計上させて頂いておりますが、中山間地域の雇用を生む中核施設として、県とも連携しながら、来年度に向けて、施設整備の検討を進めてまいります。

3つ目は、こども施策の充実と女性活躍の場の拡大です。

先ほどもお話ししましたが、来年度からは健康介護支援課を分割し、新たに健康推進課を設けます。この健康推進課は、これまで通り親子すこやか班、健康づくり班の2班体制で業務を行っていきませんが、国や県の動きを事前につかみ、新たな取り組みにもチャレンジしていきたいと考えております。

親子すこやか班について、国の「こども家庭庁」県庁の「子育て支援課」と「子ども家庭課」の事業を研究し、予算を獲得していきたいと考えております。

香美市の厳しい財政を踏まえ、新たな事業をするための予算獲得について、私自らが国や県に要望するなど努力してまいります。

最後に4つ目の文化芸術とスポーツの振興です。

本議会では、ふるさと納税を原資としたまちづくり応援基金を取り崩させて頂き、鏡野中学校の吹奏楽部のための楽器購入費を計上させて頂きました。

この予算については、市長としての思いから計上させて頂いているものです。

今回鏡野中学校が、全日本マーチングコンテスト2022に出場することになりました。このことをきっかけに部のことをお聞きする中で、高知市の高校から借りて使っている楽器があるということを知りました。全国大会に出る高知県代表の吹奏楽部として、香美市としてできる限りのことをすべきだと考えました。

当然、部活の備品購入については、各学校の要望をお聞きし、公平に計上していくものだと思っております。一方で、努力の結果、全国大会出場など良い成績を出した部活には、今後も報いてやりたいと思っております。

また今月タイで開催されたアジアペタシク選手権大会に山田小学校6年、和田一嘉くんが日本代表として出場しました。市長室にも報告に来て頂いたのですが、こういった有望選手には、市として旅費を補助する取り組みも検討していきたいと思っております。

香美市の文化芸術やスポーツの振興について、有望な部活や競技については、市長としても市役所としても積極的に応援していきたいと考えております。このような予算につきましては、議会としましてもご議論頂けたらと思っております。

以上、5つの基本政策と4つの横断的な政策についてご説明させて頂きました。